

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）		
科目名	特別活動の理論と方法	科目分類	教職科目
			経済学部 ■必修 □選択
英文表記	Theory and Methods of Special Activities	開講年次	□ 1 年 □ 2 年 ■ 3 年 □ 4 年
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中
ふりがな	いちはら みつまさ	修得単位	2 単位
担当者名	市 原 光 匡	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用
授業のテーマ	特別活動の教育的意義を理解し、効果的な実践手法を身につける。		
到達目標	1. 特別活動の意義、目標及び内容を理解していること。 2. 特別活動の指導の在り方を理解していること。		
授業概要	特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々な行われる活動の総体である。 学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身につける。		
授業計画			
第 1 回	ガイダンス		
第 2 回	特別活動の教育的意義と実践課題		
第 3 回	特別活動の内容・方法・評価		
第 4 回	特別活動の歴史		
第 5 回	学級活動とホームルーム活動		
第 6 回	児童会活動・生徒会活動とクラブ活動		
第 7 回	学校行事		
第 8 回	特別活動と教科指導		
第 9 回	特別活動と道徳		
第 10 回	特別活動と総合的な学習の時間		
第 11 回	特別活動と学級経営		
第 12 回	特別活動と生徒指導		
第 13 回	特別活動の実践的課題（キャリア教育との関連・命の教育との関連）		
第 14 回	特別活動の実践的課題（食育・安全指導との関連）		
第 15 回	まとめ		
第 16 回	定期試験		
授業時間外の学習	これまで経験してきた特別活動をふり返り整理するとともに、特別活動を通して得たものを検討すること（1.5 時間程度）。また授業各回、課題を提示するので、復習として取り組むこと（1.5 時間程度）。		
履修条件 受講のルール	特になし		
テキスト	新富康央・須田康之・高旗浩志〔編著〕『生きる力を育む特別活動一個が生きる集団活動を創造する』ミネルヴァ書房, 2020.		
参考文献・資料	文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』東山書房, 2018. 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』東京書籍, 2019.		
成績評価の方法	平常点 30%、定期試験 70%の比率で評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	火曜日 10:40～12:10・木曜日 14:40～16:10		

成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	複数回参加者が議論する回を設ける予定であるので、積極的な参加を期待する。また、わからないことは担当教員に確認するよう心がけたい。